

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所県民局（電話：0859-31-9769）

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫補助金	起債	その他	一般財源	
大山パークウェイ構想 日本旅行作家協会総会 誘致事業	2,400	1,700	700				2,400	
トータルコスト	7, 2 4 1 千円（前年度 6, 6 7 1 千円） [正職員：0. 6 人]							
主な業務内容	大山パークウェイ構想にかかる催事実施、連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	地域資源（ひと・もの・活動）の魅力を県内外の客が享受できるようにする							

1 事業内容の目的・概要

観光客の滞在延長を目指す大山パークウェイ構想の一環として、日本旅行作家協会総会（特別例会）を誘致し、当エリアの認知度をあげ、旅関係連載雑誌等を通じた鳥取県への誘客増を図る。

※大山パークウェイ構想

- (1) 蒜山から国立公園大山を經由して美保の関までつながる 80 キロの絶景ドライブルート
を大山パークウェイと名付け、エリアのブランド化を図る。
- (2) スローライフ・スローフードを打ち出し、地場産業の活性化を目指す。
- (3) 「食」と「体験」で泊を延ばし、誘客増によって持続する経済基盤を構築する。

2 主な事業の内容

- (1) 日本旅行作家協会の総会を鳥取県に誘致し、会員へ地元の魅力を紹介する

※日本旅行作家協会

観光の専門家集団による権威ある組織団体であり、旅行産業界に大きな影響力を持つ団体。
 ・会長 兼高かおる氏（日本エコツーリズム協会初代会長）
 ・会員 300名 著名人を含む旅行作家など

日本旅行作家協会の総会誘致による人脈構築を契機に、次年度以降は、日本エコツーリズム全国大会および日本エコツーリズム大会世界大会の鳥取県開催誘致による鳥取県の魅力発信を目指す。

- (2) 事業費

日本旅行作家協会総会誘致経費 2,400 千円

事業	要求額（千円）	内 容
レセプション開催	900	60 名
エクスカージョン催行	500	大山パークウェイ周辺地域視察移動経費
マスコミ招致	500	取材経費
事務費	500	連絡調整費
計	2,400	

- (3) 市町村等との連携

主 体	役 割 分 担
鳥取県	総会誘致及び実施、連絡調整等
大山パークウェイ協議会	視察コースのコーディネート及び案内
地元市町村	視察受入れ（案内ガイド対応）

3 これまでの取組状況

- (1) H20 から取り組みを始めた大山パークウェイ構想は、3 県（鳥取県、島根県、岡山県）連携のもと NPO 大山王国を核として民間事業者主導により情報発信等が進み、県外の旅行会社やマップのインターネットサイトに掲載されるなど認知度が上がってきている。
- (2) H21 に実施した旅の専門家による大山パークウェイの現地視察診断では日本旅行作家協会会長から高い評価を受けた。